

地域企業に対し、中途採用支援や結婚相手紹介、M&A支援を展開するヒューレックスグループの神谷貴宏専務取締役、佐藤文昭常務取締役、浅野有史しあわせ部長が鼎談。最新の事業承継支援について話を聞いた。



ヒューレックス(株)
専務取締役

神谷 貴宏 氏

かみや・たかひろ 1973年生まれ。愛知県出身。青山学院大学法学部卒業後、山一証券(株)入社、98年に同社自主廃業後、大手人材会社などを経て、2003年、ヒューレックス(株)の創業メンバーとして会社設立、現在まで営業部門を統括。

グループ3社の業務内容について教えてください。

神谷 現在、ヒューレックスグループは、中途採用支援のヒューレックス(株)、結婚相手紹介のマリッジ(株)、M&A支援の事業承継推進機構(通称AOBA)で構成しています。その中で、私はヒューレックスの営業統括責任者として、地域の主役である地

元企業の採用支援を全国270以上の金融機関と連携して取り組んでおります。

特に、2025年までに経営者が70歳以上となる企業約245万社まで増加し、そのうち約127万社が後継者不在による廃業・倒産の危機に直面すると言われる問題。この切実な悩みに対し、ヒューレックスでは、後継者

となる経営人材を紹介し、会社組織を存続させるご支援を行っています。また、後継者

後継者・幹部人材・結婚相手紹介を同時進行で提案
——事業承継は深刻な経営課題ですが、御社の対応は。佐藤 いま、お話しした後継者候補紹介、幹部人材紹介、結婚相手紹介の3つを「事業

紹介や後継者候補として娘婿を紹介することで円滑な事業承継を支援しています。

承継トリプルサポート」と呼び、取引先企業のステージに合わせて、中小企業が抱える事業承継の課題解決方法をワンストップで提供しています。これらを同時並行で進めることで、進ちよく状況を見極めながら経営者が最適な事業承継を選択できる点という点が成功の最大のポイントです。それでも事業承継がうまく進まない場合は、グループ会社のAOBAがM&Aの支援をご提案しています。「事業承継トリプルサポート」に加え、ヒューレックスでは取引先企業の成長フェーズに合わせたコンサルティング型の中途採

がいる場合には、後継者の右腕・左腕となる人材、後継者が若いなどの場合は中継ぎ役となる幹部人材を紹介し、後継者を支える組織づくりに取り組んでいきます。グループ会社のマリッジでは、自身後継者の結婚相手紹介

用支援を提供しており、事業計画に基づいた人員計画の策定や要件定義のアドバイスなど、企業の悩みに寄り添った提案を行っています。

浅野 結婚相手紹介においては、AIなどのシステム内だけのマッチングではなく、専任のコンシェルジュによる仲人型のサービスを提供しています。自身の後継者や経営者の価値観や金銭感覚、御家柄、生活習慣、趣味などお聞きして、全国24万人のデータベースから条件面の検索だけではないマッチングを行ってご紹介しております。特に、経営者から見れば後継者の結婚はとても深刻な経営課題で、事業承継解決のためのサ



The 地方創生

事業承継トリプルサポート

地方創生から新しい日本の未来をつくる

地域金融機関と連携した事業承継支援

ービスである」と説明すると、すぐに詳しいお話しを聞きたいとのリアクションを多数いただきました。結婚承継のサービスで、普段の生活では出会うことができないパートナーと出会って結婚に至るほか、会社の幹部人材採用やM&Aの相談につながるケースが増えており、ヒューレックスグループ全体でサポートを行っております。

御社グループの金融機関と連携した取り組みについて教えてください。支店長、法人担当者や若手行職員の研修会、企業への帯同訪問を行っています。研修会については、人材紹介事業を成功に導くためのポイントや顧客訪問におけるトークの切り口、応酬話法など、具体的なノウハウを提供しております。基幹店を中心に週1〜2回、行職員と帯同して企業訪問を行い、人材紹介をサポートしているところと併せて、取引先企業向けセミナーを開催し、成功事例（幹部人材や経営人材採用・後継者探しなど）の情報提供を通して企業の採用意欲を高める取り組みを行っております。

また、ハイレベル人材と地域企業のマッチングを促進する内閣府の「先導的人材マッ

チング事業」や地域金融機関が大企業で経験を積んだ人材をマッチングする事業「レビキャリア」活用に関する勉強会もオンラインで実施し、全面的にご支援しています。

——事業承継トリプルサポートの事例について教えてください。
神谷 具体的な事例では、銀行からご紹介いただいた製造業の会社は、社長70代で後継者は30代のご息女。また若いことから社長と後継者の間の中継ぎ役として、大企業出



ヒューレックス(株)
常務取締役

佐藤 文昭 氏

さとう・ふみあき 1966年生まれ。福島県出身。サイバーコム(株)入社。CFO(最高財務責任者)の立場で、宮城県内初のIT企業として上場を果たす。ヒューレックス(株)常務取締役。事業承継推進機構(株)取締役を兼任。

身の50代男性を当社がご紹介しました。社長とご息女双方との相性も合い、専務として入社。現在は代表取締役社長に昇格されて会社の経営を一手に任されている好事例もございます。

佐藤 とても良い事例ですね。ご紹介いただいた銀行では、企業との関係がこれまで以上に強くなり、本業である融資や様々なコンサルなど取引拡大につながっていると聞きしております。

究極の事業承継 『結婚承継』

——結婚承継についても数多くの事例が生まれているようですね。

浅野 一例をご紹介します

と、30代の女性社長は独身であることから、社業をサポートできるパートナーを求め、銀行のご紹介を通じてマリッジ(株)に入会。担当コンシェルジュより、同じ地域に住む30代営業職の男性を紹介され、意気投合し、成婚に至りました。しかも、当初条件に出していなかった婿養子による入籍も男性から了承

と、30代の女性社長は独身であることから、社業をサポートできるパートナーを求め、銀行のご紹介を通じてマリッジ(株)に入会。担当コンシェルジュより、同じ地域に住む30代営業職の男性を紹介され、意気投合し、成婚に至りました。しかも、当初条件に出していなかった婿養子による入籍も男性から了承

——最後に今後の抱負やメッセージを。

佐藤 M&Aの前にやるべきことがあります。事業承継トリプルサポートを複数同時並行で進めて、進ちよく含め最適なものを選ぶ。遅すぎることほごいけませんので、より早く、複数の後継者候補を集め、事業承継の出口パターンをいくつも同時に用意し、最適なタイミングで最適な方法を「選択」できる「準備」をすることがとても大切です。

神谷 事業承継に係る企業の経営課題を解決し、地域経済を活性化するには、地域金融機関の皆様とさらに連携を強化し、事業承継トリプルサポートを通して企業の後継者問題を解決することが重要であると確信しています。



マリッジ(株)
しあわせ部長

浅野 有史 氏

あさの・ゆうし 1963年生まれ。宮城県石巻市出身。東北学院大学卒業後、山一証券(株)入社。未公開企業の上場支援などを行う。その後、ヒューレックス(株)金融機関サポートセンター長。マリッジ(株)しあわせ部長を兼務。

と、30代の女性社長は独身であることから、社業をサポートできるパートナーを求め、銀行のご紹介を通じてマリッジ(株)に入会。担当コンシェルジュより、同じ地域に住む30代営業職の男性を紹介され、意気投合し、成婚に至りました。しかも、当初条件に出していなかった婿養子による入籍も男性から了承

と、30代の女性社長は独身であることから、社業をサポートできるパートナーを求め、銀行のご紹介を通じてマリッジ(株)に入会。担当コンシェルジュより、同じ地域に住む30代営業職の男性を紹介され、意気投合し、成婚に至りました。しかも、当初条件に出していなかった婿養子による入籍も男性から了承